

平成22年度報告書

事業報告書
正味財産増減計算書
貸借対照表
財産目録
キャッシュフロー計算書
収支計算書

財団法人 住友生命社会福祉事業団

平成22年度 事業報告書

平成22年度は、財団創立50周年およびいづみホール開館20周年にあたり、数々の記念事業を実施する一方、予防医学振興事業、福祉事業、音楽文化振興事業の三つの事業分野では、引き続き多岐に亙る事業を実施しました。公益財団法人移行認定申請に関しては、主務官庁との折衝をはじめ準備作業を進めました。また、年度末に発生した東北地方太平洋沖地震の甚大な被害に際し、義捐金・支援金を支出し復興支援を行いました。

各分野、個別事業の取組内容については以下のとおりです。

I 予防医学振興事業

● 生活習慣病予防健診(住友生命総合健診システム)

予防医学の観点から、生活習慣病の早期発見および健康管理に資する住友生命総合健診システムは、設備の充実、きめ細かい受診者対応と相俟って、引き続き多数の方々に受診いただいています。

平成22年度、健保組合等の受診料補助圧縮などを背景に受診者数は微減となりましたが、総合健診受診者数は24,783名、1日あたり平均97名の水準を維持しました(前年度25,176名、99名)。平成22年度に初めてご利用いただいた受診者は3,712名となっています(前年度4,155名)。

また、実施3年目を迎えた特定健診・特定保健指導については、年間の対象者は7,343名にのぼっています。

【住友生命総合健診システムの受診状況】

	総合健診			特定健診・特定保健指導			
	受診者 (うち初回受診者)	割合	対象者数	当日面談	後日面談	情報提供	
男性	14,226 (1,950)	57%	4,422	1,612	650	2,160	
女性	10,557 (1,762)	43%	2,921	1,106	375	1,440	
合計	24,783 (3,712)	100%	7,343	2,718	1,025	3,600	

住友生命総合健診システムでは、高度な健診内容を安全で快適に提供するとともに、受診者の健康管理を支援する各種の取組を行いました。平成22年度、新たなオプションとして、子宮頸癌の原因となるハイリスク HPV 感染の有無を調べる HPV DNA 検査を導入しました。

また、13年目を迎えた聴力障害者無料健康診断を平成23年2月5日に実施、昨年度から実施している大阪府下の介護家族の会会員への総合健診受診優遇を継続し、健康管理が疎かになりがちな層への健診サービスの提供に努めました。

主な取組事項はつぎのとおりです。

新規オプション検査の導入	子宮頸癌の原因となるハイリスクのHPV(ヒトパピローマウイルス)感染の有無を調べるHPV DNA検査を導入し、子宮頸部細胞診検査と併用することにより、子宮頸癌検査の精度向上と女性受診者へのサービス向上を図りました。
上部消化管内視鏡(胃カメラ)検査の拡充	上部消化管内視鏡(胃カメラ)検査の実施日を、月曜日から金曜日の毎日(週5日)に拡大し(今までは週3日)、希望の多かった受診者の利便性向上に努めました。
一般財団法人日本総合健診医学会の優良施設認定更新	平成23年3月末日で更新となる日本総合健診医学会の優良施設認定手続きを行い、引き続き優良施設としての認定を受けることができました。
検査機器の更新	時間当たりの処理能力の高い生化学自動分析装置、最新機種 of 腹部超音波診断装置(1台)への買い替えを行い、健診精度の維持向上を図りました。
検査管理システムの向上	動画像保存のシステム管理も可能な画像ファイリングシステム、多機能な検体検査システムおよび採血支援システムを導入し、検査効率・利便性の向上を図りました。
安全性の向上	検査室の採血窓口の仕様を変更し安全性を向上するとともに、採血時の注射針をより細く安全度の高いものに変更し、受診者の安全性・快適性の向上、職員の安全性向上に努めました。
健診システムの更新	健診運営の全体を管理しているコンピューターシステムが前回更新後6年を経過し、平成23年5月稼働を目処に更新の準備を進めました。
聴力障害者無料健康診断の実施	平成23年2月5日に大阪府在住の聴力障害の方を対象にした無料健康診断を実施しました。社団法人大阪聴力障害者協会を通じ告知を行い、多数の申込のうち75名(男性37名、女性38名)の方が受診されました。受診時のみならず、事前説明会、結果説明会も手話通訳つきで実施しました。この取組は13回を数え、これまでの延べ受診者は959名にのぼっています。
介護家族の会会員への総合健診受診の優遇	親または配偶者の介護に携わる人は、自身の健康管理が疎かになりがちであるため、大阪府下の「介護家族の会」の会員で現に介護に携わっておられる方を対象に受診優遇を継続実施し、27名の方に受診いただきました(受診料10,000円)。

住友生命総合健診システムの運営を通じて得られる知見については、従来から学会等での発表を積極的に行っており、平成22年度については以下のとおりの実績となりました。学会発表のほか、多くの研修会、勉強会等に積極的に参加し、最新医学情報の習得、健診技術の向上のため、職員の研鑽に注力しました。

第35回日本超音波検査学会	5月8日	大阪国際会議場
今、超音波健診を考えるー信頼される施設を目指してー 長尾顕一		
第59回日本医学検査学会・教育セッション	5月22日	神戸国際会議場
超音波検査のコツー生理検査のプロフェッショナルになるためにー 長尾顕一		
第49回日本がん検診学会総会	6月12日	沖縄コンベンションセンター
上腹部検査における小彎リンパ節描出能とヘリコバクターピロリ感染 長尾顕一、堀本葉子、岡田優子、久保満明		
第51回日本人間ドック学会学術大会	8月26～27日	旭川市民文化会館・旭川グランドホテル
胸部X線肺読影Computer-Aided Diagnosis 時間差分画像Truediaの有用性 堀本葉子、峯山和之、長尾顕一、久保満明		
膝型アミラーゼと腹部超音波検査所見との関連性 長尾顕一、堀本葉子、岡田優子、久保満明		
初年度特定保健指導の成果と今後の展開 奥山令子、鈴木聡子、寺田博美、野田直子、本田笙子、山中桂子、長尾顕一、久保満明、堀本葉子		
第32回関西総合健診医学懇話会	8月28日	千里ライフサイエンスセンター
上部消化管X線検査にて指摘できずPG検査にて発見された胃癌の検討 小山平幸		
兵庫臨床検査技師会生理検査研修会	10月9日	神戸大学医学部附属病院 神緑会館
見落としをしない腹部超音波検査～検査室環境からスキャンまで～ 長尾顕一		
第18回日本消化器関連学会週間	10月13日	パシフィコ横浜
Helicobacter-pylori(Hp)感染・ペプシノーゲン値(PG)別の上部消化管内視鏡検査結果検討 堀本葉子		
第20回日本乳癌検診学会総会	11月18日	福岡国際会議場
人間ドック受診者の乳癌検診に関する意識調査 岡田優子、堀本葉子、神田恵美子、長尾顕一、久保満明		
日本総合健診医学会第39回大会	1月28～29日	京王プラザホテル
腹部超音波検査における要精検指示者のフォローアップ効果と今後の課題について 寺田博美、堀本葉子、本田笙子、上田裕美子、川崎幸代、岡田優子、長尾顕一、久保満明		
総合健診におけるNT-proBNP値の有用性について～自覚症状、心電図所見との対比～ 岡田優子、堀本葉子、長尾顕一、久保満明		
日本消化器がん検診学会第33回近畿支部技師部会	2月26日	TKP大阪梅田ビジネスセンター
PG検査にて指摘された胃癌の検討 小山平幸		
日本がん検診学会超音波部会スクリーニング研修講習会	3月26日	千里ライフサイエンスセンター
門脈および門脈疾患の超音波像 長尾顕一		

● 海外医学研究助成

日本国内の大学を卒業し、医学博士の資格を取得後、生活習慣病等の先端医療分野の研究を行うために海外の大学または学術研究機関に留学する若手研究者に対し、一人あたり150万円の研究助成を行いました。従来の指定校制度を撤廃し、平成22年度より一般公募に移行したことで、多数の申込が寄せられたため、予定の人数枠18名への助成を実施しました。

氏名	大学/留学先	研究課題
伊藤 伸朗	東京(腎臓・内分泌内科) アデレード大学(豪)	骨細胞が分泌する内分泌因子の他臓器への影響
神田 光郎	名古屋(消化器外科学) ジョン・ホプキンス大学(米)	膵臓癌におけるトランスレーショナルリサーチ、特に膵臓癌の早期発見に寄与しうる遺伝子学的研究
柳 輝希	北海道(皮膚科学分野) サンフォード・バーナム 医学研究所(米)	紫外線発癌と皮膚老化に対する角層防御機構の解析
田崎 正行	新潟(腎泌尿器病態学分野) ハーバード大学(米)	臨床応用に向けた異種移植の免疫抑制療法の確立 -異種免疫応答の解析-
金澤 英明	慶應義塾(循環器内科) シーダス・サイナイ 医療センター(米)	虚血性心筋症に対する心筋幹細胞を用いた新しい心筋再生療法の確立
軸丸 美香	大阪市立(分子病態学) ウプサラ大学(瑞典)	ストレス下での脳内報酬系制御機能の性差医学的解析
菊池 英毅	北海道(呼吸器内科学分野) ダナ・ファーバー癌研究所(米)	肺癌のイニシエーションおよびプログレッションに關与する遺伝子変異の解明と分子標的治療
宮島 直人	北海道(腎泌尿器外科学分野) 国立衛生研究所(米)	肥満・代謝異常における前立腺癌の解明
山本 英喜	広島(消化器外科) カリフォルニア大学 サンディエゴ校(米)	低酸素応答性遺伝子による癌関連間質細胞の活性化と癌幹細胞の幹細胞性維持機構の解明
石橋 賢士	東京医科歯科(脳神経病態学) カリフォルニア大学 ロサンゼルス校(米)	薬物依存の形成に關連する遺伝子の解析とPETによる分子病態の解明
寺崎 泰和	大阪(神経内科学) マサチューセッツ総合病院(米)	Neurovascular unitからみた脳虚血における細胞間および細胞基質間シグナル伝達の解明と治療への応用
田中 啓	大阪(泌尿器科) クリスティ病院(英)	精巣腫瘍における転移促進因子の解明
三吉 範克	大阪(消化器外科学) マサチューセッツ総合病院(米)	癌細胞の再プログラミング

富丸 慶人	大阪(消化器外科学) ブラウン大学(米)	高度進行肝細胞癌に対するIFN併用化学療法の治療効果予測・治療抵抗性の克服
山本 正嗣	神戸(呼吸器内科学分野) ブリティッシュコロロンビア大学(加)	網羅的分析を用いた気道暴露における気管支喘息病態の解明
熊谷 天哲	帝京(内科) マギル大学(加)	糖尿病腎症と老化－老化抑制薬による新しい治療開発
古賀 智裕	長崎(第一内科) ハーバード大学(米)	Ca ²⁺ /CaM依存性プロテインキナーゼIV関連の新規分子同定による全身性エリテマトーデスの病態解明
瀧澤 逸大	新潟(腎泌尿器病態学分野) モナッシュ大学(豪)	前立腺癌における去勢抵抗性獲得機序の解明 － エストロゲン α ・ β 受容体を介したエストロゲン作用の研究 － 前立腺癌の幹細胞の同定・がん治療への応用－

● 地域医療貢献奨励賞

自治医科大学の後援を得て、へき地等で長期にわたり地域医療に多大な貢献をされている医師を顕彰する「地域医療貢献奨励賞」は4年目を迎えました。平成22年度、全国の都道府県から推薦のあった医師の中から次の6名を選出し、平成23年2月19日に表彰式を行いました(副賞50万円)。

木村 康一	宮城県登米市 医療法人社団緑水会米川診療所・所長
昭和56年自治医科大学卒。長く勤務した公立の米川診療所を平成20年に民営化のうえ引き継ぎ、現在に至るまで22年間にわたり勤務している。地区で唯一の初期医療機関としての診療所運営に加え、他の医療機関や福祉保健機関との連携も密であり、地域の医療充実にとって、なくてはならない存在となっている。	
小野 剛	秋田県横手市 市立大森病院・院長
昭和58年自治医科大学卒。住民の視点に立ち、「夕暮れ診療」、「女性専用外来」など、地域ニーズに応える医療サービスを導入するほか、新病院の開設に伴い保健・医療・福祉が一体となった「地域包括ケア」の取組に貢献する。地域医療実習を通して研修医・医学生の育成にも取り組む。	
鈴木 啓二	福島県会津若松市 福島県立会津総合病院・院長
昭和53年自治医科大学卒。県下複数のへき地医療機関で通算16年の勤務を行うほか、自治医科大学の講師として後進医師の指導に4年間従事した。県内における地域医療の拡充を図る行政機関・公益法人の役職を歴任し指導的な役割を果たす。現在も引き続き南会津地域の地域医療充実に尽力している。	

折茂 賢一郎	群馬県吾妻郡長野原町 西吾妻福祉病院・管理者
昭和59年自治医科大学卒。六合村へき地診療所と自治医科大学の講師とを兼務しつつ、六合温泉医療センターの開設に尽力した。広域の二次医療を担う西吾妻福祉病院の開設にも携わり、同病院に移った後も六合温泉医療センター所長を兼務、365日24時間の体制で救急医療に対応している。	
濱崎 豊	熊本県天草市 国民健康保険天草市立新和病院・院長
昭和54年自治医科大学卒。患者の命を救うには一定レベルの施設を整えることが必須との理念の下、就任当時大きな赤字だった新和町病院の財政の回復に貢献する。平成9年の新病院建設後も、包括医療についての協議実践活動を主宰し、地域医療・福祉向上に取り組む。へき地医療従事は22年の長きに及ぶ。	
長松 宜哉	大分県大分市 社会医療法人関愛会・理事長
昭和54年自治医科大学卒。永年勤務する佐賀関町国保病院が、大分市との合併に伴い民営化されるに際し、これを承継し現在に至る。へき地医療拠点病院として、内科医不在等の診療所に対し、国の医師派遣と協働して医師の派遣を行うほか、地域に根ざした包括ケアの推進と複数の診療所を開設運営するなど、地域医療の維持確保に貢献する。	

● 数理統計医学研究助成

財団設立50周年を記念し、社会医学、とりわけ数理統計分野の今後の発展の一助となることを願い、数理統計医学研究助成を実施しました。全国の大学および研究機関に所属する研究者から11件の応募があり、選考委員6名による事前審査および選考委員会の審議を経て、助成対象を次のとおり決定しました。伝達式については平成22年11月30日に実施しました。

研究タイトル	生命力関数を用いた数理モデルの構築と応用
所属機関	大阪大学大学院医学研究科保健学専攻
代表研究者	大野 ゆう子 教授
助成金額	250万円(進捗状況確認のうえ、平成23年度の継続助成を検討)

II 福祉事業

● 「スミセイさわやか介護セミナー」

国の介護保険制度が始まる9年前、平成3年にスタートした「スミセイさわやか介護セミナー」は、全国各地の地元新聞社との共催、住友生命保険相互会社(開催地支社)の協賛により毎年開催し、好評のうちに回を重ねて満20年を迎えました。

行政の変化等、介護を取り巻く状況の変化に則し、適宜セミナー内容の見直しを行い、介護の仕事に就く人に留まらず、家庭に要介護者を抱えた家族、さらには一般の方々に、広く介護関係の知識・技術を伝える役割を担っています。

セミナーでは、専門家による介護保険制度に関わる情報提供、関心が高まる認知症に関わる予防および介護等に関する医療・介護関係者による講演、介護経験のある著名人の体験を踏まえた講演、介護をテーマとする映画上演、看護師・介護士等の専門職による移動・食事・排泄・メンタルケア等の実技指導など、多彩な内容を盛り込んだプログラムを提供しました。

平成22年度は福島市でのセミナーが前日の東北地方太平洋沖地震のため中止となりましたが、全国37都市で開催し、参加者は延べ1万名を数え、受講された方々への介護に関わる知識・ノウハウの浸透に努めました。



● 「ケアする人のケア」セミナー

財団法人たんぽぽの家との共催により、介護する側からの視点で問題提起を行うセミナーを毎年開催しています。平成22年度からは年間2か所に拡大し、静岡県袋井市(平成22年11月)と札幌市(平成23年2月)で開催しました。現地の福祉関係団体の運営協力もあり、地元のNPO、研究者、行政職、施設管理者、専門職、家族介護者など、両会場あわせ500名を超える参加者がありました。セミナーでは、基調講演、パネルディスカッション、分科会等で、事例発表、相互討議を行い、終日にわたって問題を深掘りするとともに参加者相互の情報交換に努めました。また、開催地の介護情報をまとめたハンドブックを製作し、参加者に配布するとともに一般への提供も行いました。

● 遠距離介護セミナー

NPO法人パオッコとの共催により、平成22年11月に大阪と東京で遠距離介護セミナーを開催しました。大阪では香山リカ氏、東京では上野千鶴子氏を講師に招き特別講演を行うとともに、ケアマネジャーと社会保険労務士も加わるディスカッションにより、問題解決に向けたヒントを探りました。また、平成22年度は初めての試みとして、これまでのノウハウをまとめた情報冊子を製作し、来場者に配布するほか、全国紙を通じた広報による一般提供には大きな反響があり、遠距離介護の悩みを持つ方々に好評をもって迎えられました。

● コミュニティケア活動支援

地域に密着したNPO等が「大きな福祉」実現に向け連携して取り組む活動を、コミュニティケア活動支援センターを通じて支援しました。平成22年度は、重点テーマを「自殺のない社会づくり活動」と「高齢者支援」に設定し、活動の中心になるNPOやグループとの連携を強め、新しい動きに向け注力しました。またコミュニティケア活動の広がりを生み出すためのサロン活動を継続し、様々な活動との関係を深め、やわらかなネットワーク組織発想を広げることにも努めました。

平成22年度にコミュニティケア活動支援センターが取り組んだ事項は次のとおりです。

自殺のない社会づくり ネットワークプロジェクト	コミュニティケア活動支援センターが事務局となり、ゲートキーパー（自殺多発場所で自殺防止に取り組む活動者）、シェルター（自殺を思いとどまった人たちの支援者）、フォワード（自殺を思いとどまった自殺企図者）の相互交流の場を提供しました（毎月開催）。 シェルターネットワークづくりのためのフォーラムを、平成22年11月に東京で開催し、ワークショップを通じて問題を深掘りするとともに、マスコミを通じたアピールも行いネットワーク拡大に努めました。
高齢者支援活動のやわらかなネットワークの検討	NPO法人認知症予防ネット（京都）が開発したスリーA方式の認知症予防ゲームの普及を中心に、高齢者生活支援を目指すやわらかなネットワークづくりの取組を開始しました。孤独死、介護、多世代交流なども含めた「大きな福祉」の理念での糾合を目指し、多くのNPO等との連携を進めました。
コムケアネットワーク活動	メーリングリスト（全国約500人程度参加）を中心に、「大きな福祉」の理念を共有する連携関係を深める一方、サロンや交流会で出会った活動や既存の活動への助言等の支援を行いました。

● 子どものためのNPOとの協働事業

日本NPOセンターと児童健全育成推進財団が共催する「子どものためのNPOとの協働事業」に協賛し、児童館を舞台に子どもと多分野NPOの出会い創出を支援する活動は4年目となりました。実施地域のうち、仙台市と金沢市は自主的な活動に移行し、北九州市、京都市、燕市の3地域での活動を支援しました。各地での取組により、児童館の活動の幅が広がる、地域内に新たな支援者が生まれる、子どもたちが活性化する、子どもたちの他者とのコミュニケーション力が上がる等の効果が現れています。

平成22年度には、燕市での野外活動に合わせ、各地域での活動を推進するNPO支援センターのスタッフ等による合宿ミーティングを実施し、これまでの活動の総括と今後の進め方について検討を行いました。これを受け、全国に普及させるための成果報告と活動ノウハウをまとめた冊子の作成に取り組みました。また、自主活動を促す活動助成方式への移行等についても、具体化を進めています。

● 自然環境学習につなげる子どもエコ俳句大賞

次代を担う好奇心旺盛な子どもの育成を支援するため、自然環境学習につなげる「第5回・子どもエコ俳句大賞」を、NPO法人シニア自然大学校と協働して、近畿二府四県の小学生を対象に実施しました。今回から選者に著名な俳人である坪内稔典氏を迎え、第5回記念賞を特別に設け、応募51,400句の中から特選3、準特選3、優秀賞40、優良賞60、記念賞25の合計131句を選出し、平成23年1月23日に大阪市立こども文化センターで受賞者・家族出席のもと表彰式を行いました。

特選、準特選は次のとおりです。

特選 (坪内稔典賞)	低学年	ちきゅうにも つめたいアイス あげたいな	松本 寛暉 神戸市 なぎさ小学校1年
	中学年	ばあちゃんち まどをあければ 大文字	小西 汰市 大阪市 玉川小学校4年
	高学年	星月夜 地球の鼓動が 聞こえるよ	三田 悠乃 姫路市 林田小学校6年
準特選	低学年	さかあがり くりんとみせた ひまわりに	岡田 夏月 大阪市 鯉江東小学校1年
	中学年	あつひは うちわとせんすが いばりだす	谷岡 ほのか 奈良市 帯解小学校4年
	高学年	秋の空 青一色の 平和かな	生田 浩平 堺市 榎小学校6年

● 障害者等のコンサート招待

平成22年8月25日に、障害者とその家族やボランティアの方々を約700名招待し、「第8回いずみホール夢コンサート」を開催しました。このコンサートでは、初回から毎年出演願っている藤岡幸夫氏指揮の関西フィルハーモニー管弦楽団による演奏で、メインプログラムにチャイコフスキーのバレエ音楽「白鳥の湖」のハイライト版がナレーション付で演奏されました。来場の視覚障害者の方からは、「素晴らしい音楽を聴くと白鳥の姿が見えました」との感想も寄せられるなど、来場の方々に楽しいひとときを過ごしていただきました。

● 災害救護事業

平成23年3月11日の東北地方太平洋沖地震による被害の甚大さに鑑み、災害救護引当資産等を財源に、当財団が実施する事業との関係が深い団体等へ総額5,274,460円の義捐金・支援金を拠出しました。

拠出先	理由	金額
公益社団法人 地域医療振興協会 ※	東北地方において複数の医療機関の管理運営を行う公益社団法人地域医療振興協会が実施する被災地での医療支援の一助とするため、支援金を拠出しました。	2,500,000円
財団法人 児童健全育成 推進財団 ※	子どものためのNPOとの協働事業でモデル実施を行った宮城県仙台市および多賀城市の沿海部の児童館周辺で甚大な被害があったことを受け、全国の児童館を所管する児童健全育成推進財団が設定した東日本大震災「児童館活動支援募金」に拠出しました。	1,000,000円
日本赤十字社 ※	いずみホール来場者に呼びかけて実施した募金活動に関連し、当財団からマッチングギフトとして義捐金を拠出しました。	400,000円
財団法人 福島民報 厚生文化事業団	平成23年3月12日に福島市で開催を予定していた「スマセイさわやか介護セミナー」を地震災害の影響で中止としたため、予算額から準備段階で確定した経費を除いた金額を、同県内の被災者救護のためセミナー共催の福島民報社を通じて拠出しました。	1,374,460円

※ 3団体への拠出合計額3,900,000円は、災害救護引当資産見合い額

Ⅲ 音楽文化振興事業

平成22年度、いずみホールは開館20周年を迎え、記念公演を含む年間35の主催公演を開催しました。共催公演、貸館も含む公演数は230、年間の入場者総数は132,509人となりました。大規模コンサートホールの改築等による休館もあるなか、大阪におけるクラシック音楽文化の振興に大きく寄与しています。

平成21年度に新型インフルエンザ流行の影響等で減少傾向であった主催公演の一公演あたりの入場者数は632名(前年度、562名)と、公演内容の充実とも相俟って回復基調となりました。

	平成22年度 ()は前年度		オープン以来	
	公演数	入場者数	公演数	入場者数
主催公演	35 (32)	22,134 (17,974)	772	455,303
共催公演	14 (3)	8,767 (1,769)		
貸館(一般公演)	181(185)	101,608(103,738)	4,277	2,355,110
貸館(レコーディング、式典等)	0 (14)			
合計	230(234)	132,509(123,481)	5,049	2,810,413

(注) 平成22年度の共催14公演には大阪市音楽団との子供向け鑑賞会の8公演を含む。

また、貸館(一般公演)にはリハーサル使用3回を含む。

平成22年4月には開館20周年記念ガラコンサートを開催し、声楽、ピアノ、邦楽と、各ジャンルの著名演奏家の競演をお楽しみいただきました。同じく4月には、祝祭の機会オペラであるロッシーニ「ランスへの旅」を豪華キャストで再演し大好評を博しました。年間企画としては、生誕200年を迎えたシューマンをシリーズで取り上げ、声楽、ピアノ曲、交響曲と各ジャンルの作品を網羅したプログラムは、いずみホールならではの企画と高い評価を受けました。このほか、いずみシンフォニエッタ大阪による「新・音楽の未来への旅シリーズ」と銘打つ定期演奏会、定番シリーズとなっている「ランチタイム・コンサート」、「バッハ・オルガン作品連続演奏会」、「日本のうた」など、バラエティに富むラインアップで、多様なクラシック音楽ファンのニーズに応えました。

平成22年度は、若年層のクラシック音楽ファンの育成・獲得に向けた取組を強化したことが、特筆事項として挙げられます。主催公演のバルコニー席のうち一定数を若者に無料提供するユースシートの創設は、他に類を見ない画期的な試みと大きな反響がありました。また従来から実施している中学生以下の子どもを対象にした数多くの普及企画も引き続き行いました。

全主催公演は次の内容です(公演日、標題、演奏者、主な演奏曲名を記載)。

【シューマン2010 ～ロマンの理想を求めて～】

9/29 (水)	I. ベートーヴェンを目指して～室内楽の年 1842年／32歳 クリスチャン・ツィメルマン(ピアノ)、ハーゲン弦楽四重奏団 バツェヴィッチ:ピアノ五重奏曲、シューマン:ピアノ五重奏曲 ほか
10/29 (金)	II. 結婚の年に歌う 1840年の歌曲から／30歳 ジョン・エルウイス(テノール)、渡邊順生(フォルテピアノ) シューマン:「詩人の恋」、「リーダークライス」より、「ミルテの花」より

11/10 (水)	Ⅲ. 飛翔と瞑想 20代のピアノ独奏曲から 河村尚子(ピアノ) シューマン:クライスレリアーナ、アベッグ変奏曲、フモレスケ ほか
11/18 (木)	Ⅳ. 晩年の作品「黄昏に抗して」 1849～51年/39～41歳 伊藤 恵(ピアノ)、加藤知子(ヴァイオリン)、宮田 大(チェロ)、藤本一子(お話) シューマン:森の情景、幻想小曲集、ピアノ三重奏曲 第3番 ほか
12/1 (水)	Ⅴ. 交響曲全曲演奏会① パーヴォ・ヤルヴィ(指揮)、ドイツ・カンマー・フィルハーモニー管弦楽団 シューマン:序曲・スケルツォとフィナーレ、交響曲 第4番、第1番「春」
12/2 (木)	Ⅵ. 交響曲全曲演奏会② パーヴォ・ヤルヴィ(指揮)、ドイツ・カンマー・フィルハーモニー管弦楽団 シューマン:「マンフレッド」序曲、交響曲 第2番、第3番「ライン」

【新・音楽の未来への旅シリーズ】

7/8 (木)	いづみシンフォニエッタ大阪 第25回定期演奏会 「イタリア」～400年の時空を超えて 飯森範親(指揮)、大島弥州夫(オーボエ) ベリオ:シュマンⅣ、ストラヴィンスキー:プルチネルラ組曲 ほか
2/26 (土)	いづみシンフォニエッタ大阪 第26回定期演奏会 「マーラーへのオマージュ」 飯森範親(指揮)、中丸三千繪(ソプラノ) 神本真理:プレイフル・シアター、マーラー(川島素晴編曲):さすらう若人の歌 ほか

【いづみホール・オペラ】

4/17 (土)	いづみホール開館20周年記念 ～岩田達宗プロデュース～「ランスへの旅」 佐藤美枝子、福原寿美枝、尾崎比佐子、石橋栄実、清水徹太郎、松本薫平、 井原秀人、久保田真澄、折江忠道、牧野正人、 佐藤正浩、ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団 ほか ロッシーニ:オペラ「ランスへの旅」
-------------	--

【ランチタイム・コンサート (企画・構成、お話:日下部吉彦)】

5/18 (火)	ランチタイム・コンサートvol. 72 「オルガン・デュオは、なんと四手四足！」 渡邊清人、渡邊知江美(パイプオルガン) J. S. バッハ:目覚めよと呼ぶ声が聞こえ、スーザ:星条旗よ永遠なれ ほか
9/28 (火)	ランチタイム・コンサートvol. 73 「音とリズムで世界一周、打楽器アンサンブル」 北野徹とパーカッショングループ大阪 ハチャトゥリアン:剣の舞、アンダーソン:フィドル・ファドル、 フォスター:故郷の人々 ほか
12/6 (月)	ランチタイム・コンサートvol. 74 「4手と2台で彩るピアノデュオ」 ピアノデュオ “ドウオール” ショパン:小犬のワルツ、ベートーヴェン:交響曲 第9番より「歓喜の歌」 ほか

3/28 (月)	ランチタイム・コンサートvol. 75 「東洋と西洋のコラボレーション」 古武道(古川展生・チェロ、妹尾 武・ピアノ、藤原道山・尺八) 妹尾 武:翼、藤原道山:百花繚乱、古川展生:TANGO-J ほか
-------------	--

【シヨパン2010 ～銘器、名曲、名手でつづる～】

5/14 (金)	I. 銘器 菊池洋子 菊池洋子(ピアノ) シヨパン:12の練習曲 op. 25、24の前奏曲 op. 28
6/25 (金)	II. 名曲 イリーナ・メジューエワ イリーナ・メジューエワ(ピアノ) シヨパン:ワルツ「小犬」、練習曲「別れの曲」、練習曲「革命」、ポロネーズ「英雄」 ほか
7/23 (金)	III. 名手 ジャン＝マルク・ルイサダ ジャン＝マルク・ルイサダ シヨパン:アンダンテ・スピアナートと華麗なる大ポロネーズ、シューマン:蝶々 ほか

【その他公演】

4/10 (土)	いずみホール開館20周年記念ガラ・コンサート 「そして明日へ」 東儀秀樹、小山実稚恵、幸田浩子、土橋 薫、飯森範親、関西フィルハーモニー ほか チャイコフスキー:ピアノ協奏曲 第1番、J. シュトラウスⅡ:「こうもり」序曲 ほか
5/25 (火)	Cedyna Special エマニュエル・パユ with トレヴァー・ピノック×ジョナサン・マンソン エマニュエル・パユ(フルート)、トレヴァー・ピノック(チェンバロ)、 ジョナサン・マンソン(チェロ) J. S. バッハ:フルート・ソナタ、無伴奏チェロ組曲、ヘンデル:シャコンヌと変奏 ほか
6/11 (金)	YAMAHA PRESENTS IZUMI JAZZ NIGHT 2010 小曾根真&Gary Burton 小曾根真(ピアノ)、ゲイリー・バートン(ヴィブラフォン) ミルト・ジャクソン:Bag's Groove、チック・コリア:Bud Powell ほか
7/14 (水)	バッハ・オルガン作品連続演奏会Vol. 7 「シンフォニーとしてのオルガン、室内楽としてのオルガン」 ハンス・ファギウス(パイプオルガン)、礒山 雅(お話) J. S. バッハ:プレリュードとフーガ ト長調、トリオ・ソナタ 第5番 ほか
7/26 (月) 7/29 (木)	職場ふれあいコンサート 川瀬賢太郎(指揮)、大阪交響楽団 モーツァルト:フィガロの結婚序曲、スメタナ:モルダウ、 チャイコフスキー:花のワルツ ほか
8/31 (火)	手紙と演奏で紡ぐ ロベルト・クララ「シューマン愛の軌跡」 熊本マリ(ピアノ)、石田純一(朗読) シューマン:子供の情景、献呈 ほか
9/15 (水)	平日午後2時コンサート 日本のうた～クラシックな歌謡曲 小泉恵子(ソプラノ)、田中 純(バリトン)、内之倉勝哉(テノール)、 花岡千春(ピアノ) ほか 影を暮いて、蘇州夜曲、お使いは自転車に乗って、長崎の鐘、イヨマンテの夜 ほか

11/5 (金)	Cedyna Special 庄司紗矢香×ジャンルカ・カシオーリ 庄司紗矢香(ヴァイオリン)／ジャンルカ・カシオーリ(ピアノ) ベートーヴェン:ヴァイオリン・ソナタ 第2番、第8番、第9番「クロイツェル」
12/9 (木)	榎本大進×コンスタンチン・リフシッツ 榎本大進(ヴァイオリン)、コンスタンチン・リフシッツ(ピアノ) ベートーヴェン:ヴァイオリン・ソナタ 第1番、第5番「春」、第10番
12/18 (土)	いずみホール・クリスマス・コンサート2010 シネマでXmas II 岩村 力(指揮)、関西フィルハーモニー交響楽団、岡部まり(司会) ほか 「シカゴ」「マイ・フェア・レディ」「雨に唄えば」「ウエスト・サイド・ストーリー」 ほか
1/7 (金)	ALSOK PRESENTS いずみホール・ニューイヤー・コンサート2011 ウィーン・リング・アンサンブル J. シュトラウスII:「こもり」序曲、皇帝円舞曲、ワルツ「春の声」 ほか
2/18 (金)	アンドラーシュ・シフ ～巨匠が奏でるピアノ・ソナタの金字塔～ アンドラーシュ・シフ(ピアノ) ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ 第30番、第31番、第32番
3/11 (金)	MUSIC SUPPLEMENT vol. 6 いちむじん いちむじん(ギター・デュオ) 宇高靖人:Rosso Rosa、山下俊輔:かけら、佐藤直紀:龍馬伝 ほか
3/21 (月・祝)	バッハ・オルガン作品連続演奏会vol. 8 「オルガンの拓く大宇宙」 ヴォルフガング・ツェラー(パイプオルガン)／礒山 雅(お話) J. S. バッハ:クラヴィーア練習曲集 第3部(全曲)
3/30 (水)	日本のうた～クラシックな歌謡曲【流れゆく時のなかで／戦後から昭和の終わりまで】 石橋栄実(ソプラノ)、三原 剛(バリトン)、小堀勇介(テノール)、花岡千春(ピアノ)、 礒山 雅(お話) 青い山脈、君といつまでも、亜麻色の髪の乙女、川の流れのように ほか

【普及事業】

8/7 (土)	いずみ子どもカレッジ2010 「たたいて、ひいて、大騒ぎ」 山本愛香、鈴木庸祐 小学生対象のボディパーカッションのワークショップと様々な楽器を使ったコンサート
2/10 (木)	いずみホール音楽講座 作曲家・西村朗が案内する「名曲の歴史は川の流れのように」 中島慎子、釋 伸司(ヴァイオリン)、大江のぞみ(ヴィオラ)、林 裕(チェロ)、 碓山典子(ピアノ) ショパン:小犬のワルツ、リスト:ラ・カンパネッラ、 フォーレ:ピアノ五重奏曲 第2番より ほか
3/22 (火)	バッハ・オルガン作品連続演奏会【特別企画】 ヴォルフガング・ツェラー／マスタークラス J. S. バッハと彼に影響を与えた北ドイツ、南ドイツとフランスの音楽家達 講師:ヴォルフガング・ツェラー、通訳:廣野嗣雄

IV 財団組織運営に関する事項

● 創立50周年記念事業(ヘルシーライフ・コンサート)

予防医学振興事業の一環として実施した記念事業「数理統計医学研究助成」の他に、財団の三事業を横断する記念事業として、創立50周年記念「ヘルシーライフ・コンサート」をいずみホールで平成22年10月27日に開催しました。

このコンサートは、生活習慣病と大作曲家をテーマに、大作曲家の病気に纏わるエピソードを紹介しつつ、その作品を鑑賞するというユニークな企画で、宮本文昭氏指揮の大阪センチュリー交響楽団の熱演をお楽しみいただきました。コンサートにあたっては、住友生命総合健診システム契約先および受診者、いずみホールフレンズ会員、財団の事業協働先団体等に加え、多数の一般応募者からの抽選を合わせ、約800名の方々を招待しました。

● 公益法人改革への対応

当財団は、公益法人改革三法施行後、大阪府所管の特例民法法人となりましたが、事業を実施する地域が全国に及ぶことから、公益財団法人移行認定に際しては国(内閣府)に申請することとしました。平成22年度中には、新しく窓口となる内閣府公益認定等委員会との協議を数次にわたり行い、公益認定のポイントとなる事業の公益性説明についての摺り合わせを実施しました。

健診関係の事業を行う公益法人の認定作業は、全般的に遅れがみられますが、平成23年度に認定を受け新法人に移行すべく、規程の整備、会計の見直し等も含め事前準備作業を進めました。

また、公益財団法人への移行後の最初の評議員については、現主務官庁の大阪府から認可を得た選定方法に沿って、第三者機関である選定委員会による選定手続を実施しました。

● 役員・評議員の状況

平成22年度における役員・評議員の異動は次のとおりです。

平成22年5月27日	評議員 評議員 評議員 評議員	重任 重任 重任 重任	小栗 まち絵 古川 俊之 川木 一正 斉藤 弥生	評議員 評議員 評議員	重任 新任(増員) 重任	中嶋 直躬 中村 透 古河 久人
平成22年10月28日	理事 理事 理事 理事 理事 理事	重任 重任 重任 重任 重任 重任	阿部 裕 宇高 不可思 川島 仁司 久保 満明 塩野 元三 十川 輝明	理事 理事 理事 理事 監事 監事	重任 重任 新任(増員) 重任 重任 重任	中尾 邦彦 中西 正明 中村 孝義 三野 哲治 上野 博明 小林 英雄
平成23年3月31日	理事 理事	辞任 辞任	十川 輝明 中西 正明	評議員	辞任	古河 久人
平成23年4月1日	理事	新任(補欠)	篠原 照明	評議員	新任(補欠)	松本 貢一

役員名簿

(平成23年5月31日現在)

理事長	川島 仁司	住友生命保険相互会社 常任顧問・元常務取締役
常務理事	中尾 邦彦	財団法人住友生命社会福祉事業団 本部事務局長
常務理事	篠原 照明	財団法人住友生命社会福祉事業団 いずみホール事業局長
理事	阿部 裕	大阪労災病院・国立病院機構大阪医療センター 名誉院長
理事	宇高 不可思	財団法人住友病院 副院長
理事	久保 満明	住友生命総合健診システム 名誉所長
理事	塩野 元三	塩野義製薬株式会社 代表取締役会長
理事	中村 孝義	大阪音楽大学 理事長・学長
理事	三野 哲治	住友ゴム工業株式会社 代表取締役会長
監事	上野 博明	上野博明事務所 公認会計士
監事	小林 英雄	住友生命保険相互会社 常任顧問・元常務取締役

評議員名簿

(平成23年5月31日現在)

評議員	小栗 まち絵	相愛大学音楽学部 教授・ヴァイオリニスト
評議員	川木 一正	曾根崎法律事務所 弁護士
評議員	斉藤 弥生	大阪大学大学院人間科学研究科 准教授
評議員	中嶋 直躬	コクヨ株式会社 社友・元専務取締役
評議員	中村 透	スミセイ保険サービス株式会社 代表取締役社長
評議員	古川 俊之	国立病院機構大阪医療センター名誉院長・東京大学名誉教授
評議員	松本 貢一	住友生命保険相互会社 調査広報部長

予防医学振興事業会計 正味財産増減計算書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益			
特定資産受取利息	1,143,600	1,175,244	-31,644
事業収益			
検診事業収益	1,158,656,538	1,169,089,933	-10,433,395
受取寄付金	36,500,000	38,500,000	-2,000,000
雑収益			
受取利息	774,429	1,622,190	-847,761
雑収益	466,245	276,151	190,094
経常収益計	1,197,540,812	1,210,663,518	-13,122,706
(2) 経常費用			
事業費			
検診事業費	1,199,976,479	1,231,032,754	-31,056,275
海外医学研究助成事業費	27,602,012	21,447,991	6,154,021
地域医療貢献奨励賞事業費	4,494,066	4,391,720	102,346
障害者健康診断事業費	2,118,530	1,814,145	304,385
50周年記念助成事業費	3,357,742	0	3,357,742
管理費	21,781,602	22,012,873	-231,271
経常費用計	1,259,330,431	1,280,699,483	-21,369,052
当期経常増減額	-61,789,619	-70,035,965	8,246,346
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
退職給付引当資産取崩益	9,368	0	9,368
過年度損益修正益	0	10,284,286	-10,284,286
経常外収益計	9,368	10,284,286	-10,274,918
(2) 経常外費用			
什器備品除却損	537,006	0	537,006
特定資産評価損	0	42,172	-42,172
経常外費用計	537,006	42,172	494,834
当期経常外増減額	-527,638	10,242,114	-10,769,752
当期一般正味財産増減額	-62,317,257	-59,793,851	-2,523,406
一般正味財産期首残高	1,273,023,566	1,332,817,417	-59,793,851
一般正味財産期末残高	1,210,706,309	1,273,023,566	-62,317,257
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	1,210,706,309	1,273,023,566	-62,317,257

事業費および管理費明細書

1. 検診事業費

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
給料手当	233,943,106	242,489,270	-8,546,164
退職給付費用	12,179,553	82,277,493	-70,097,940
福利厚生費	42,260,838	40,138,355	2,122,483
臨時雇賃金	93,377,716	90,525,794	2,851,922
医師他報酬	249,960,780	206,757,618	43,203,162
旅費交通費	2,602,554	2,762,054	-159,500
諸謝金	558,099	660,000	-101,901
通信運搬費	16,943,136	14,836,783	2,106,353
什器備品費	504,020	2,260,562	-1,756,542
消耗品費	168,440,068	166,115,250	2,324,818
印刷費	5,352,707	5,163,779	188,928
光熱水料費	9,879,957	10,230,879	-350,922
清掃費	13,147,000	13,166,000	-19,000
修繕費	23,908,011	23,047,145	860,866
賃借料	146,318,414	161,819,422	-15,501,008
保険料	539,308	584,542	-45,234
検査等委託費	78,879,926	73,508,746	5,371,180
租税公課	4,482,745	4,913,423	-430,678
負担金	1,513,825	1,797,218	-283,393
雑費	14,163,985	13,583,842	580,143
減価償却費	81,020,731	74,394,579	6,626,152
合 計	1,199,976,479	1,231,032,754	-31,056,275

2. 海外医学研究助成事業費

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
研究助成金	27,000,000	21,000,000	6,000,000
雑費	602,012	447,991	154,021
合 計	27,602,012	21,447,991	6,154,021

3. 地域医療貢献奨励賞事業費

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
地域医療貢献奨励賞事業費	4,494,066	4,391,720	102,346
合 計	4,494,066	4,391,720	102,346

4. 障害者健康診断事業費

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
障害者健康診断事業費	2,118,530	1,814,145	304,385
合 計	2,118,530	1,814,145	304,385

5. 50周年記念助成事業費

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
50周年記念助成事業費	3,357,742	0	3,357,742
合 計	3,357,742	0	3,357,742

6. 管理費

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
給料手当	16,887,450	16,475,156	412,294
福利厚生費	4,756,110	5,140,044	-383,934
旅費交通費	136,851	387,673	-250,822
通信運搬費	191	0	191
雑費	1,000	10,000	-9,000
合 計	21,781,602	22,012,873	-231,271

福祉事業会計 正味財産増減計算書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	9,549,810	11,326,911	-1,777,101
特定資産運用益			
特定資産受取利息	1,555	3,629	-2,074
受取寄付金	153,500,000	151,500,000	2,000,000
雑収益			
受取利息	11,614,733	12,113,310	-498,577
経常収益計	174,666,098	174,943,850	-277,752
(2) 経常費用			
事業費			
各種団体との連携事業費	132,489,735	129,040,998	3,448,737
その他社会福祉事業費	14,677,562	4,916,843	9,760,719
管理費	27,140,074	25,142,572	1,997,502
経常費用計	174,307,371	159,100,413	15,206,958
当期経常増減額	358,727	15,843,437	-15,484,710
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
過年度損益修正損	0	10,177,347	-10,177,347
経常外費用計	0	10,177,347	-10,177,347
当期経常外増減額	0	-10,177,347	10,177,347
当期一般正味財産増減額	358,727	5,666,090	-5,307,363
一般正味財産期首残高	1,089,331,381	1,083,665,291	5,666,090
一般正味財産期末残高	1,089,690,108	1,089,331,381	358,727
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	9,268,171	0	9,268,171
一般正味財産への振替	9,532,221	0	9,532,221
当期指定正味財産増減額	-264,050	0	-264,050
指定正味財産期首残高	700,000,000	700,000,000	0
指定正味財産期末残高	699,735,950	700,000,000	-264,050
III 正味財産期末残高	1,789,426,058	1,789,331,381	94,677

事業費および管理費明細書

1. 各種団体との連携事業費

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
介護セミナー開催事業費	111,011,798	108,382,110	2,629,688
NPO支援プログラム事業費	17,128,331	16,757,532	370,799
租税公課	4,349,606	3,901,356	448,250
合 計	132,489,735	129,040,998	3,448,737

2. その他社会福祉事業費

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
災害者救護事業費	5,274,460	800,000	4,474,460
障害者に対するコンサート招待事業費	3,697,278	3,950,843	-253,565
事業年報製作費	191,429	166,000	25,429
創立50周年記念コンサート事業費	5,514,395	0	5,514,395
合 計	14,677,562	4,916,843	9,760,719

3. 管理費

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
給料手当	17,409,000	15,609,627	1,799,373
福利厚生費	3,667,177	3,453,491	213,686
旅費交通費	1,830,969	1,478,073	352,896
通信運搬費	6,772	6,443	329
消耗品費	50,858	43,124	7,734
印刷費	283,197	319,870	-36,673
賃借料	2,161,840	2,318,172	-156,332
租税公課	1,200	1,000	200
負担金	114,286	120,000	-5,714
雑費	1,614,775	1,792,772	-177,997
合 計	27,140,074	25,142,572	1,997,502

音楽文化振興事業会計 正味財産増減計算書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収益			
いずみホール事業収益	252,336,836	228,526,882	23,809,954
受取寄付金	199,000,000	195,000,000	4,000,000
受取助成金	20,892,100	26,452,382	-5,560,282
雑収益			
雑収益	292,952	14,524	278,428
経常収益計	472,521,888	449,993,788	22,528,100
(2) 経常費用			
事業費			
いずみホール事業費	448,408,669	449,835,560	-1,426,891
管理費	9,388,028	10,040,132	-652,104
経常費用計	457,796,697	459,875,692	-2,078,995
当期経常増減額	14,725,191	-9,881,904	24,607,095
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
過年度損益修正益	0	8,328,464	-8,328,464
経常外収益計	0	8,328,464	-8,328,464
(2) 経常外費用			
什器備品除却損	165,911	0	165,911
経常外費用計	165,911	0	165,911
当期経常外増減額	-165,911	8,328,464	-8,494,375
当期一般正味財産増減額	14,559,280	-1,553,440	16,112,720
一般正味財産期首残高	87,829,602	89,383,042	-1,553,440
一般正味財産期末残高	102,388,882	87,829,602	14,559,280
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	102,388,882	87,829,602	14,559,280

事業費および管理費明細書

1. いずみホール事業費

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
給料手当	113,709,144	102,035,337	11,673,807
退職給付費用	2,600,600	2,548,900	51,700
福利厚生費	1,233,561	1,025,578	207,983
臨時雇賃金	27,663,115	41,123,358	-13,460,243
広告宣伝費	19,991,114	21,501,357	-1,510,243
旅費交通費	1,276,699	1,040,002	236,697
諸謝金	6,279,013	6,759,306	-480,293
通信運搬費	4,940,251	5,409,026	-468,775
什器備品費	2,028,073	557,657	1,470,416
消耗品費	2,577,917	2,868,559	-290,642
印刷費	13,329,909	13,576,976	-247,067
清掃費	644,400	644,400	0
修繕費	52,200	53,200	-1,000
賃借料	14,294,869	14,539,736	-244,867
保険料	819,301	763,310	55,991
検査等委託費	2,113,943	1,802,399	311,544
教育研修費	87,000	293,874	-206,874
租税公課	5,957,913	5,630,650	327,263
負担金	837,601	981,458	-143,857
雑費	6,434,749	3,592,027	2,842,722
公演経費	10,848,338	11,324,223	-475,885
企画制作費	124,799,404	123,076,480	1,722,924
ホール管理費	84,182,542	86,560,504	-2,377,962
減価償却費	1,707,013	2,127,243	-420,230
小 計	448,408,669	449,835,560	-1,426,891

2. 管理費

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
給料手当	9,047,822	9,321,701	-273,879
旅費交通費	223,284	603,246	-379,962
通信運搬費	64,064	65,185	-1,121
租税公課	50,000	50,000	0
雑費	2,858	0	2,858
合 計	9,388,028	10,040,132	-652,104

正味財産増減計算書総括表

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

(単位:円)

	予防医学振興事業	福祉事業	音楽文化振興事業	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益				
基本財産受取利息	0	9,549,810	0	9,549,810
特定資産運用益				
特定資産受取利息	1,143,600	1,555	0	1,145,155
事業収益				
検診事業収益	1,158,656,538	0	0	1,158,656,538
いずみホール事業収益	0	0	252,336,836	252,336,836
受取寄付金	36,500,000	153,500,000	199,000,000	389,000,000
受取助成金	0	0	20,892,100	20,892,100
雑収益				
受取利息	774,429	11,614,733	0	12,389,162
雑収益	466,245	0	292,952	759,197
経常収益計	1,197,540,812	174,666,098	472,521,888	1,844,728,798
(2) 経常費用				
事業費				
検診事業費	1,199,976,479	0	0	1,199,976,479
海外医学研究助成事業費	27,602,012	0	0	27,602,012
地域医療貢献奨励賞事業費	4,494,066	0	0	4,494,066
障害者健康診断事業費	2,118,530	0	0	2,118,530
50周年記念助成事業費	3,357,742	0	0	3,357,742
各種団体との連携事業費	0	132,489,735	0	132,489,735
その他社会福祉事業費	0	14,677,562	0	14,677,562
いずみホール事業費	0	0	448,408,669	448,408,669
管理費	21,781,602	27,140,074	9,388,028	58,309,704
経常費用計	1,259,330,431	174,307,371	457,796,697	1,891,434,499
当期経常増減額	-61,789,619	358,727	14,725,191	-46,705,701
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
退職給付引当資産取崩益	9,368	0	0	9,368
過年度損益修正益	0	0	0	0
経常外収益計	9,368	0	0	9,368
(2) 経常外費用				
什器備品除却損	537,006	0	165,911	702,917
特定資産評価損	0	0	0	0
過年度損益修正損	0	0	0	0
経常外費用計	537,006	0	165,911	702,917
当期経常外増減額	-527,638	0	-165,911	-693,549
当期一般正味財産増減額	-62,317,257	358,727	14,559,280	-47,399,250
一般正味財産期首残高	1,273,023,566	1,089,331,381	87,829,602	2,450,184,549
一般正味財産期末残高	1,210,706,309	1,089,690,108	102,388,882	2,402,785,299
II 指定正味財産増減の部				
基本財産運用益				
基本財産受取利息	0	9,268,171	0	9,268,171
一般正味財産への振替	0	9,532,221	0	9,532,221
当期指定正味財産増減額	0	-264,050	0	-264,050
指定正味財産期首残高	0	700,000,000	0	700,000,000
指定正味財産期末残高	0	699,735,950	0	699,735,950
III 正味財産期末残高	1,210,706,309	1,789,426,058	102,388,882	3,102,521,249

予防医学振興事業会計 貸借対照表

平成23年3月31日現在

(単位:円)

	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	437,423,880	522,340,878	-84,916,998
未収収益	219,042	232,740	-13,698
未収金	112,241,360	133,114,990	-20,873,630
前払費用	1,152,297	0	1,152,297
仮払金	24,000	0	24,000
貯蔵品	19,166,401	18,385,706	780,695
流動資産合計	570,226,980	674,074,314	-103,847,334
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	35,721,520	25,799,550	9,921,970
設備更新引当資産	149,812,800	149,719,200	93,600
特定資産合計	185,534,320	175,518,750	10,015,570
(3) その他固定資産			
建物附属設備	39,367,582	48,056,838	-8,689,256
什器備品	260,925,835	201,276,735	59,649,100
ソフトウェア	14,312,666	19,757,247	-5,444,581
投資有価証券	299,980,000	299,949,600	30,400
その他固定資産合計	614,586,083	569,040,420	45,545,663
固定資産合計	800,120,403	744,559,170	55,561,233
資産合計	1,370,347,383	1,418,633,484	-48,286,101
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	44,082,836	41,027,331	3,055,505
未払費用	12,620,205	18,099,043	-5,478,838
預り金	1,298,727	0	1,298,727
仮受金	0	874,228	-874,228
賞与引当金	31,800,181	22,133,744	9,666,437
流動負債合計	89,801,949	82,134,346	7,667,603
2. 固定負債			
退職給付引当金	69,839,125	63,475,572	6,363,553
固定負債合計	69,839,125	63,475,572	6,363,553
負債合計	159,641,074	145,609,918	14,031,156
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	1,210,706,309	1,273,023,566	-62,317,257
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	149,812,800	175,518,750	-25,705,950
正味財産合計	1,210,706,309	1,273,023,566	-62,317,257
負債および正味財産合計	1,370,347,383	1,418,633,484	-48,286,101

福祉事業会計 貸借対照表

平成23年3月31日現在

(単位:円)

	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	211,740,673	227,118,877	-15,378,204
売掛金	0	0	0
未収収益	2,584,685	2,584,685	0
未収金	9,690,525	0	9,690,525
前払費用	147,337	0	147,337
貯蔵品	8,130	8,870	-740
流動資産合計	224,171,350	229,712,432	-5,541,082
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	701,073,920	701,208,160	-134,240
基本財産合計	701,073,920	701,208,160	-134,240
(2) 特定資産			
災害救護引当資産	3,900,000	3,900,000	0
特定資産合計	3,900,000	3,900,000	0
(3) その他固定資産			
投資有価証券	863,059,666	864,174,933	-1,115,267
その他固定資産合計	863,059,666	864,174,933	-1,115,267
固定資産合計	1,568,033,586	1,569,283,093	-1,249,507
資産合計	1,792,204,936	1,798,995,525	-6,790,589
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	55,458	7,629,349	-7,573,891
未払費用	684,043	323,000	361,043
賞与引当金	2,039,377	1,711,795	327,582
流動負債合計	2,778,878	9,664,144	-6,885,266
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	2,778,878	9,664,144	-6,885,266
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	699,735,950	700,000,000	-264,050
指定正味財産合計	699,735,950	700,000,000	-264,050
(うち基本財産への充当額)	699,735,950	700,000,000	-264,050
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
2. 一般正味財産	1,089,690,108	1,089,331,381	358,727
(うち基本財産への充当額)	1,337,970	1,208,160	129,810
(うち特定資産への充当額)	3,900,000	3,900,000	0
正味財産合計	1,789,426,058	1,789,331,381	94,677
負債および正味財産合計	1,792,204,936	1,798,995,525	-6,790,589

音楽文化振興事業会計 貸借対照表

平成23年3月31日現在

(単位:円)

	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	143,917,861	121,274,778	22,643,083
売掛金	553,900	418,100	135,800
未収金	8,800,511	10,466,844	-1,666,333
前払費用	5,415,122	5,323,343	91,779
貯蔵品	1,255,382	1,544,148	-288,766
流動資産合計	159,942,776	139,027,213	20,915,563
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	2,000,000	0	2,000,000
特定資産合計	2,000,000	0	2,000,000
(3) その他固定資産			
建物附属設備	3,339,930	3,561,356	-221,426
構築物	2,387,323	2,445,231	-57,908
什器備品	2,292,728	3,566,348	-1,273,620
ソフトウェア	265,366	395,336	-129,970
敷金	4,652,000	4,652,000	0
電話加入権	432,000	432,000	0
その他固定資産合計	13,369,347	15,052,271	-1,682,924
固定資産合計	15,369,347	15,052,271	317,076
資産合計	175,312,123	154,079,484	21,232,639
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	16,481,001	5,648,269	10,832,732
未払費用	0	4,126,585	-4,126,585
預り金	2,395,500	1,548,410	847,090
前受金	23,095,000	28,048,850	-4,953,850
賞与引当金	10,720,840	8,749,768	1,971,072
流動負債合計	52,692,341	48,121,882	4,570,459
2. 固定負債			
固定負債合計	20,230,900	18,128,000	2,102,900
負債合計	20,230,900	18,128,000	2,102,900
負債合計	72,923,241	66,249,882	6,673,359
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
2. 一般正味財産	102,388,882	87,829,602	14,559,280
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	102,388,882	87,829,602	14,559,280
負債および正味財産合計	175,312,123	154,079,484	21,232,639

貸借対照表総括表

平成23年3月31日現在

(単位:円)

	予防医学振興事業	福祉事業	音楽文化振興事業	内部取引消去	合計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	437,423,880	211,740,673	143,917,861	0	793,082,414
売掛金	0	0	553,900	0	553,900
未収収益	219,042	2,584,685	0	0	2,803,727
未収金	112,241,360	9,690,525	8,800,511	-14,155,409	116,576,987
前払費用	1,152,297	147,337	5,415,122	0	6,714,756
仮払金	24,000	0	0	0	24,000
貯蔵品	19,166,401	8,130	1,255,382	0	20,429,913
流動資産合計	570,226,980	224,171,350	159,942,776	-14,155,409	940,185,697
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
投資有価証券	0	701,073,920	0	0	701,073,920
基本財産合計	0	701,073,920	0	0	701,073,920
(2) 特定資産					
退職給付引当資産	35,721,520	0	2,000,000	0	37,721,520
災害救護引当資産	0	3,900,000	0	0	3,900,000
設備更新引当資産	149,812,800	0	0	0	149,812,800
特定資産合計	185,534,320	3,900,000	2,000,000	0	191,434,320
(3) その他固定資産					
建物附属設備	39,367,582	0	3,339,930	0	42,707,512
構築物	0	0	2,387,323	0	2,387,323
什器備品	260,925,835	0	2,292,728	0	263,218,563
ソフトウェア	14,312,666	0	265,366	0	14,578,032
投資有価証券	299,980,000	863,059,666	0	0	1,163,039,666
敷金	0	0	4,652,000	0	4,652,000
電話加入権	0	0	432,000	0	432,000
その他固定資産合計	614,586,083	863,059,666	13,369,347	0	1,491,015,096
固定資産合計	800,120,403	1,568,033,586	15,369,347	0	2,383,523,336
資産合計	1,370,347,383	1,792,204,936	175,312,123	-14,155,409	3,323,709,033
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	44,082,836	55,458	16,481,001	-14,155,409	46,463,886
未払費用	12,620,205	684,043	0	0	13,304,248
預り金	1,298,727	0	2,395,500	0	3,694,227
前受金	0	0	23,095,000	0	23,095,000
仮受金	0	0	0	0	0
賞与引当金	31,800,181	2,039,377	10,720,840	0	44,560,398
流動負債合計	89,801,949	2,778,878	52,692,341	-14,155,409	131,117,759
2. 固定負債					
退職給付引当金	69,839,125	0	20,230,900	0	90,070,025
固定負債合計	69,839,125	0	20,230,900	0	90,070,025
負債合計	159,641,074	2,778,878	72,923,241	-14,155,409	221,187,784
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産					
寄付金	0	699,735,950	0	0	699,735,950
指定正味財産合計	0	699,735,950	0	0	699,735,950
(うち基本財産への充当額)	0	699,735,950	0	0	699,735,950
(うち特定資産への充当額)	0	0	0	0	0
2. 一般正味財産	1,210,706,309	1,089,690,108	102,388,882	0	2,402,785,299
(うち基本財産への充当額)	0	1,337,970	0	0	1,337,970
(うち特定資産への充当額)	149,812,800	3,900,000	0	0	153,712,800
正味財産合計	1,210,706,309	1,789,426,058	102,388,882	0	3,102,521,249
負債および正味財産合計	1,370,347,383	1,792,204,936	175,312,123	-14,155,409	3,323,709,033

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準および評価方法
満期保有目的の債券・・・償却原価法(定額法)によっている。
- (2) 棚卸資産の評価基準および評価方法
貯蔵品・・・個別法による原価法によっている。
- (3) 有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却の方法
定額法によっている。(耐用年数および残存価額は法人税法に規定する方法と同一の基準)
- (4) 無形固定資産(リース資産を除く)の減価償却の方法
定額法によっている。(耐用年数および残存価額は法人税法に規定する方法と同一の基準)
- (5) 引当金の計上基準
退職給付引当金・・・職員の退職給付に備えるため、退職一時金については当事業年度末における自己都合要支給額に相当する金額、退職年金については当事業年度末における支給確定額を計上している。
なお、会計基準変更時差異については、15年による按分額を費用処理している。
賞与引当金・・・・・・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。
- (6) 消費税等の会計処理
税抜方式によっている。

2. 基本財産および特定資産の増減額およびその残高

基本財産および特定資産の増減額およびその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	701,208,160	0	134,240	701,073,920
小計	701,208,160	0	134,240	701,073,920
特定資産				
退職給付引当資産	25,799,550	37,721,520	25,799,550	37,721,520
災害救護引当資産	3,900,000	0	0	3,900,000
設備更新引当資産	149,719,200	93,600	0	149,812,800
小計	179,418,750	37,815,120	25,799,550	191,434,320
合計	880,626,910	37,815,120	25,933,790	892,508,240

3. 基本財産および特定資産の財源等の内訳

基本財産および特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	701,073,920	699,735,950	1,337,970	0
小計	701,073,920	699,735,950	1,337,970	0
特定資産				
退職給付引当資産	37,721,520	0	0	37,721,500
災害救護引当資産	3,900,000	0	3,900,000	0
設備更新引当資産	149,812,800	0	149,812,800	0
小計	191,434,320	0	153,712,800	37,721,500
合計	892,508,240	699,735,950	155,050,770	37,721,500

4. 固定資産の取得価格、減価償却累計額および当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額および当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	617,005,171	574,297,659	42,707,512
構築物	2,797,498	410,175	2,387,323
什器備品	493,522,917	230,304,354	263,218,563
ソフトウェア	53,492,722	38,914,690	14,578,032
合計	1,166,818,308	843,926,878	322,891,430

5. 満期保有目的の債券の内訳ならびに帳簿価格、時価および評価損益

満期保有目的の債権の内訳ならびに帳簿価格、時価および評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	帳簿価格	時 価	評価損益
国債	1,752,926,386	1,792,357,220	39,430,834
公債	260,000,000	260,728,520	728,520
合計	2,012,926,386	2,053,085,740	40,159,354

6. 補助金等の内訳ならびに交付者、当期の増減額および残高
補助金等の内訳ならびに交付者、当期の増減額および残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
寄付金						
基本財産充当寄付金	住友生命保険	700,000,000	0	264,050	699,735,950	指定正味財産
予防医学振興、福祉、音楽文化振興 3事業寄付金	住友生命保険	0	389,000,000	389,000,000	0	一般正味財産
助成金						
平成22年度 地域の芸術拠点形成事業	文化庁	0	14,292,100	14,292,100	0	一般正味財産
平成22年度 優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業	文化庁	0	4,800,000	4,800,000	0	一般正味財産
いずみシンフォニエッタ公演助成金	ロームミュージックファンデーション	0	1,300,000	1,300,000	0	一般正味財産
オペラ「ランスへの旅」助成金	三菱UFJ信託芸術文化財団	0	500,000	500,000	0	一般正味財産
合 計		700,000,000	409,892,100	410,156,150	699,735,950	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息振替額	9,532,221
合 計	9,532,221

8. その他

(1) リース取引関係

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンスリース取引

①リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額および期末残高相当額 (単位:円)

	備 品	ソフトウェア	合 計
取得価額相当額	0	5,650,000	5,650,000
減価償却累計額相当額	0	3,484,182	3,484,182
期末残高相当額	0	2,165,818	2,165,818

②未経過リース料期末残高相当額 (単位:円)

	1年以内	1年超	合 計
未経過リース料期末残高相当額	1,173,408	0	1,173,408

③当期の支払リース料、減価償却費相当額および支払利息相当額

(単位:円)

支払リース料	4,163,200
減価償却費相当額	4,854,311
支払利息相当額	124,423

④減価償却費相当額の算定方法

定額法によっている。

⑤利息相当額の算定方法

リース料総額とリース物件の取得価額相当額との差額を利息相当額とし、各期への配分方法については、利息法によっている。

(2) 退職給付関係

①採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金および退職年金制度を設けている。

②退職給付債務およびその内訳 (単位:円)

退職給付債務	-154,374,960
会計基準変更時差異の未処理額	64,304,935
退職給付引当金	-90,070,025

③退職給付費用に関する事項 (単位:円)

勤務費用	8,349,660
会計基準変更時差異の費用処理額	6,430,493
退職給付費用	14,780,153

④退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職一時金および退職年金制度に基づく期末自己都合要支給額および期末退職年金要支給額を基礎としている。

⑤会計基準変更時差異の処理年数

15年

財 産 目 録

平成23年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金			
現金手許有高	2,923,611		
預金			
普通預金			
三井住友銀行	299,380,011		
三菱東京UFJ銀行	349,613,825		
住友信託銀行	6,040,394		
みずほ銀行	1,670,846		
近畿大阪銀行	126,904,287		
ゆうちょ銀行	549,440		
定期預金			
三井住友銀行	1,000,000		
大阪信用金庫	5,000,000		
売掛金	553,900		
未収収益	2,803,727		
未収金	116,576,987		
前払費用	6,714,756		
仮払金	24,000		
貯蔵品	20,429,913		
流動資産合計		940,185,697	
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券			
利付国債(第236回)	260,000,000		
埼玉県公債(平成13年/第2回)	200,000,000		
利付国債(第232回)	100,000,000		
利付国債(第41回)	81,073,920		
神奈川県公債(第115回)	60,000,000		
基本財産合計	701,073,920		
(2) 特定資産			
災害救護引当資産			
定期預金 三井住友銀行	3,900,000		
退職給付引当資産			
普通預金 三菱東京UFJ銀行	35,721,520		
普通預金 近畿大阪銀行	2,000,000		
設備更新引当資産			
利付国債(第248回)	149,812,800		
特定資産合計	191,434,320		
(3) その他固定資産			
建物附属設備	42,707,512		
構築物	2,387,323		
什器備品	263,218,563		
ソフトウェア	14,578,032		
投資有価証券			
利付国債(第278回)	300,000,000		
利付国債(第268回)	200,278,400		
利付国債(第285回)	199,980,000		
利付国債(第290回)	100,931,000		
利付国債(第248回)	99,875,200		
利付国債(第296回)	100,000,000		
利付国債(第63回)	70,477,400		
利付国債(第237回)	50,497,666		
利付国債(第236回)	40,000,000		
出資証券(大阪信用金庫)	1,000,000		
敷金	4,652,000		
電話加入権	432,000		
その他固定資産合計	1,491,015,096		
固定資産合計		2,383,523,336	
資産合計			3,323,709,033
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	46,463,886		
未払費用	13,304,248		
預り金	3,694,227		
前受金	23,095,000		
賞与引当金	44,560,398		
流動負債合計		131,117,759	
2. 固定負債			
退職給付引当金	90,070,025		
固定負債合計		90,070,025	
負債合計			221,187,784
正味財産			3,102,521,249

キャッシュ・フロー計算書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 事業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 当期一般正味財産増減額	-47,399,250	-55,681,201	8,281,951
2. キャッシュ・フローへの調整額			
① 減価償却費	82,727,744	76,521,822	6,205,922
② 固定資産除却損	702,917	0	702,917
③ 賞与引当金の増減額	11,965,091	7,028,017	4,937,074
④ 退職給付引当金の増減額	8,466,453	37,361,693	-28,895,240
⑤ 売掛金の増減額	-135,800	731,000	-866,800
⑥ 未収収益の増減額	13,698	-2,817,425	2,831,123
⑦ 未収金の増減額	13,983,043	10,279,454	3,703,589
⑧ 前払費用の増減額	-1,391,413	413,932	-1,805,345
⑨ 仮払金の増減額	-24,000	926,670	-950,670
⑩ 貯蔵品の増減額	-491,189	-4,742,965	4,251,776
⑪ 未払金の増減額	5,180,741	-12,952,400	18,133,141
⑫ 未払費用の増減額	-9,244,380	22,548,628	-31,793,008
⑬ 預り金の増減額	2,145,817	-1,263,790	3,409,607
⑭ 前受金の増減額	-4,953,850	28,048,850	-33,002,700
⑮ 仮受金の増減額	-874,228	-26,594,862	25,720,634
⑯ 固定資産売却益	-9,368	0	-9,368
⑰ 固定資産評価損益	0	42,172	-42,172
⑱ 投資有価証券償却原価調整額	1,125,507	1,155,107	-29,600
⑲ 過年度損益修正損益	0	-705,203	705,203
⑳ 指定正味財産からの振替額	-264,050	0	-264,050
小計	108,922,733	135,980,700	-27,057,967
事業活動によるキャッシュ・フロー	61,523,483	80,299,499	-18,776,016
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 投資活動収入			
① 退職給付引当資産取崩収入	25,808,918	36,295,700	-10,486,782
② 投資有価証券償還収入	100,000,000	200,000,000	-100,000,000
投資活動収入	125,808,918	236,295,700	-110,486,782
2. 投資活動支出			
① 退職給付引当資産取得支出	-37,721,520	-9,857,491	-27,864,029
② 建物附属設備取得支出	0	-3,392,709	3,392,709
③ 什器備品取得支出	-124,756,000	-32,006,291	-92,749,709
④ ソフトウェア取得支出	-2,507,000	0	-2,507,000
⑤ 投資有価証券取得支出	-100,000,000	-199,920,000	99,920,000
投資活動支出	-264,984,520	-245,176,491	-19,808,029
投資活動によるキャッシュ・フロー	-139,175,602	-8,880,791	-130,294,811
III 現金及び現金同等物の増減額	-77,652,119	71,418,708	-149,070,827
IV 現金及び現金同等物の期首残高	864,734,533	793,315,825	71,418,708
V 現金及び現金同等物の期末残高	787,082,414	864,734,533	-77,652,119

(注) 資金の範囲 資金の範囲には、現金及び現金同等物を含めている。

予防医学振興事業会計 収支計算書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 特定資産運用収入				
特定資産利息収入	0	1,050,000	-1,050,000	
② 事業収入				
検診事業収入	1,166,760,000	1,158,656,538	8,103,462	
③ 寄付金収入	36,500,000	36,500,000	0	
④ 雑収入				
受取利息収入	2,074,000	744,029	1,329,971	
雑収入	150,000	466,245	-316,245	
事業活動収入計	1,205,484,000	1,197,416,812	8,067,188	
2. 事業活動支出				
① 事業費支出				
検診事業費支出	1,103,269,000	1,102,698,866	570,134	
海外医学研究助成事業費支出	28,000,000	27,602,012	397,988	
地域医療貢献奨励賞事業費支出	5,000,000	4,494,066	505,934	
障害者健康診断事業費支出	2,500,000	2,118,530	381,470	
50周年記念助成事業費支出	6,000,000	3,357,742	2,642,258	
② 管理費支出	24,140,000	22,008,494	2,131,506	
事業活動支出計	1,168,909,000	1,162,279,710	6,629,290	
事業活動収支差額	36,575,000	35,137,102	1,437,898	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
① 特定資産取崩収入				
退職給付引当資産取崩収入	0	25,808,918	-25,808,918	
② 固定資産売却収入				
投資有価証券償還収入	100,000,000	100,000,000	0	
投資活動収入計	100,000,000	125,808,918	-25,808,918	
2. 投資活動支出				
① 特定資産取得支出				
退職給付引当資産取得支出	10,000,000	35,721,520	-25,721,520	
② 固定資産取得支出				
什器備品購入支出	132,000,000	124,756,000	7,244,000	
ソフトウェア購入支出	0	2,317,000	-2,317,000	
投資有価証券取得支出	100,000,000	100,000,000	0	
投資活動支出計	242,000,000	262,794,520	-20,794,520	
投資活動収支差額	-142,000,000	-136,985,602	-5,014,398	
当期収支差額	-105,425,000	-101,848,500	-3,576,500	
前期繰越収支差額	574,114,000	614,073,712	-39,959,712	
次期繰越収支差額	468,689,000	512,225,212	-43,536,212	

事業費支出および管理費支出明細書

1. 検診事業費支出

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異	備考
給料手当支出	249,143,000	232,670,074	16,472,926	
退職給付費用支出	7,367,000	5,816,000	1,551,000	
福利厚生費支出	39,863,000	41,973,082	-2,110,082	
臨時雇賃金支出	90,219,000	93,377,716	-3,158,716	
医師他報酬支出	234,497,000	241,628,239	-7,131,239	
旅費交通費支出	3,089,000	2,602,554	486,446	
諸謝金支出	460,000	558,099	-98,099	
通信運搬費支出	15,526,000	16,943,136	-1,417,136	
什器備品費支出	3,500,000	504,020	2,995,980	
消耗品費支出	162,638,000	168,440,068	-5,802,068	
印刷費支出	6,332,000	5,352,707	979,293	
光熱水料費支出	10,146,000	9,879,957	266,043	
清掃費支出	12,090,000	13,147,000	-1,057,000	
修繕費支出	24,824,000	23,908,011	915,989	
賃借料支出	151,454,000	146,318,414	5,135,586	
保険料支出	560,000	539,308	20,692	
検査等委託費支出	74,722,000	78,879,926	-4,157,926	
租税公課支出	2,000,000	4,482,745	-2,482,745	
負担金支出	1,862,000	1,513,825	348,175	
雑支出	12,977,000	14,163,985	-1,186,985	
合 計	1,103,269,000	1,102,698,866	570,134	

2. 海外医学研究助成事業費支出

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異	備考
研究助成金支出	27,000,000	27,000,000	0	
雑支出	1,000,000	602,012	397,988	
合 計	28,000,000	27,602,012	397,988	

3. 地域医療貢献奨励賞事業費支出

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異	備考
地域医療貢献奨励賞事業費支出	5,000,000	4,494,066	505,934	
合 計	5,000,000	4,494,066	505,934	

4. 障害者健康診断事業費支出

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異	備考
障害者健康診断事業費支出	2,500,000	2,118,530	381,470	
合 計	2,500,000	2,118,530	381,470	

5. 50周年記念助成事業費支出

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異	備考
50周年記念助成事業費支出	6,000,000	3,357,742	2,642,258	
合 計	6,000,000	3,357,742	2,642,258	

6. 管理費支出

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異	備考
給料手当支出	17,807,000	17,092,442	714,558	
福利厚生費支出	5,423,000	4,778,010	644,990	
旅費交通費支出	200,000	136,851	63,149	
通信運搬費支出	0	191	-191	
負担金支出	10,000	0	10,000	
雑支出	700,000	1,000	699,000	
合 計	24,140,000	22,008,494	2,131,506	

福祉事業会計 収支計算書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 基本財産運用収入				
基本財産利息収入	9,420,000	9,420,000	0	
② 特定資産運用収入				
特定資産利息収入	0	1,555	-1,555	
③ 寄付金収入	153,500,000	153,500,000	0	
④ 雑収入				
受取利息収入	12,735,000	12,730,000	5,000	
事業活動収入計	175,655,000	175,651,555	3,445	
2. 事業活動支出				
① 事業費支出				
各種団体との連携事業費支出	145,000,000	132,489,735	12,510,265	
その他社会福祉事業費支出	12,000,000	14,677,562	-2,677,562	
② 管理費支出	28,166,000	26,812,492	1,353,508	
事業活動支出計	185,166,000	173,979,789	11,186,211	
事業活動収支差額	-9,511,000	1,671,766	-11,182,766	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	-9,511,000	1,671,766	-11,182,766	
前期繰越収支差額	251,823,000	221,760,083	30,062,917	
次期繰越収支差額	242,312,000	223,431,849	18,880,151	

事業費支出および管理費支出明細書

1. 各種団体との連携事業費支出

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
介護セミナー開催事業費支出	125,000,000	111,011,798	13,988,202	
NPO支援プログラム事業費支出	20,000,000	17,128,331	2,871,669	
租税公課支出	0	4,349,606	-4,349,606	
合 計	145,000,000	132,489,735	12,510,265	

2. その他社会福祉事業費支出

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
災害者救護事業費支出	1,000,000	5,274,460	-4,274,460	
障害者に対するコンサート招待事業費支出	4,500,000	3,697,278	802,722	
事業年報制作費支出	500,000	191,429	308,571	
創立50周年記念コンサート事業費支出	6,000,000	5,514,395	485,605	
合 計	12,000,000	14,677,562	-2,677,562	

3. 管理費支出

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
給料手当支出	18,874,000	17,130,455	1,743,545	
福利厚生費支出	4,092,000	3,618,140	473,860	
旅費交通費支出	1,500,000	1,830,969	-330,969	
通信運搬費支出	20,000	6,772	13,228	
消耗品費支出	5,000	50,858	-45,858	
印刷費支出	350,000	283,197	66,803	
賃借料支出	1,400,000	2,161,840	-761,840	
租税公課支出	5,000	1,200	3,800	
負担金支出	120,000	114,286	5,714	
雑支出	1,800,000	1,614,775	185,225	
合 計	28,166,000	26,812,492	1,353,508	

音楽文化振興事業会計 収支計算書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 事業収入				
いづみホール事業収入	248,306,000	252,336,836	-4,030,836	
② 寄付金収入	199,000,000	199,000,000	0	
③ 助成金収入	2,000,000	20,892,100	-18,892,100	
④ 雑収入				
受取利息収入	10,000	0	10,000	
雑収入	0	292,952	-292,952	
事業活動収入計	449,316,000	472,521,888	-23,205,888	
2. 事業活動支出				
① 事業費支出				
いづみホール事業費支出	454,629,000	442,627,684	12,001,316	
② 管理費支出	10,020,000	9,388,028	631,972	
事業活動支出計	464,649,000	452,015,712	12,633,288	
事業活動収支差額	-15,333,000	20,506,176	-35,839,176	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
① 特定資産取得支出				
退職給付引当資産取得支出	2,000,000	2,000,000	0	
② 固定資産取得支出				
什器備品購入支出	250,000	0	250,000	
ソフトウェア購入支出	0	190,000	-190,000	
投資活動支出計	2,250,000	2,190,000	60,000	
投資活動収支差額	-2,250,000	-2,190,000	-60,000	
当期収支差額	-17,583,000	18,316,176	-35,899,176	
前期繰越収支差額	13,181,000	99,655,099	-86,474,099	
次期繰越収支差額	-4,402,000	117,971,275	-122,373,275	

事業費支出および管理費支出明細書

1. いづみホール事業費支出

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
給料手当支出	112,789,000	111,738,072	1,050,928	
退職給付費用支出	500,000	497,700	2,300	
福利厚生費支出	1,870,000	1,233,561	636,439	
臨時雇賃金支出	23,924,000	27,663,115	-3,739,115	
広告宣伝費支出	24,027,000	19,991,114	4,035,886	
旅費交通費支出	1,480,000	1,276,699	203,301	
諸謝金支出	7,220,000	6,279,013	940,987	
通信運搬費支出	5,440,000	4,940,251	499,749	
什器備品費支出	2,700,000	2,028,073	671,927	
消耗品費支出	2,000,000	2,577,917	-577,917	
印刷費支出	13,960,000	13,329,909	630,091	
清掃費支出	650,000	644,400	5,600	
修繕費支出	300,000	52,200	247,800	
賃借料支出	15,455,000	14,294,869	1,160,131	
保険料支出	1,100,000	819,301	280,699	
検査等委託費支出	1,800,000	2,113,943	-313,943	
教育研修費支出	220,000	87,000	133,000	
租税公課支出	7,640,000	5,957,913	1,682,087	
負担金支出	1,109,000	837,601	271,399	
雑支出	6,976,000	6,434,749	541,251	
公演経費支出	12,037,000	10,848,338	1,188,662	
企画制作費支出	121,292,000	124,799,404	-3,507,404	
ホール管理費支出	90,140,000	84,182,542	5,957,458	
合 計	454,629,000	442,627,684	12,001,316	

2. 管理費支出

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
給料手当支出	9,150,000	9,047,822	102,178	
福利厚生費支出	180,000	0	180,000	
旅費交通費支出	630,000	223,284	406,716	
通信運搬費支出	10,000	64,064	-54,064	
租税公課支出	50,000	50,000	0	
雑支出	0	2,858	-2,858	
合 計	10,020,000	9,388,028	631,972	

収支計算書総括表

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予防医学振興事業	福祉事業	音楽文化振興事業	合 計
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 基本財産運用収入				
基本財産利息収入	0	9,420,000	0	9,420,000
② 特定資産運用収入				
特定資産利息収入	1,050,000	1,555	0	1,051,555
③ 事業収入				
検診事業収入	1,158,656,538	0	0	1,158,656,538
いずみホール事業収入	0	0	252,336,836	252,336,836
④ 寄付金収入	36,500,000	153,500,000	199,000,000	389,000,000
⑤ 助成金収入	0	0	20,892,100	20,892,100
⑥ 雑収入				
受取利息収入	744,029	12,730,000	0	13,474,029
雑収入	466,245	0	292,952	759,197
事業活動収入計	1,197,416,812	175,651,555	472,521,888	1,845,590,255
2. 事業活動支出				
① 事業費支出				
検診事業費支出	1,102,698,866	0	0	1,102,698,866
海外医学研究助成事業費支出	27,602,012	0	0	27,602,012
地域医療貢献奨励賞事業費支出	4,494,066	0	0	4,494,066
障害者健康診断事業費支出	2,118,530	0	0	2,118,530
50周年記念助成事業費支出	3,357,742	0	0	3,357,742
各種団体との連携事業費支出	0	132,489,735	0	132,489,735
その他社会福祉事業費支出	0	14,677,562	0	14,677,562
いずみホール事業費支出	0	0	442,627,684	442,627,684
② 管理費支出	22,008,494	26,812,492	9,388,028	58,209,014
事業活動支出計	1,162,279,710	173,979,789	452,015,712	1,788,275,211
事業活動収支差額	35,137,102	1,671,766	20,506,176	57,315,044
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
① 特定資産取崩収入				
退職給付引当資産取崩収入	25,808,918	0	0	25,808,918
② 固定資産売却収入				
投資有価証券償還収入	100,000,000	0	0	100,000,000
投資活動収入計	125,808,918	0	0	125,808,918
2. 投資活動支出				
① 特定資産取得支出				
退職給付引当資産取得支出	35,721,520	0	2,000,000	37,721,520
② 固定資産取得支出				
什器備品購入支出	124,756,000	0	0	124,756,000
ソフトウェア購入支出	2,317,000	0	190,000	2,507,000
投資有価証券取得支出	100,000,000	0	0	100,000,000
投資活動支出計	262,794,520	0	2,190,000	264,984,520
投資活動収支差額	-136,985,602	0	-2,190,000	-139,175,602
当期収支差額	-101,848,500	1,671,766	18,316,176	-81,860,558
前期繰越収支差額	614,073,712	221,760,083	99,655,099	935,488,894
次期繰越収支差額	512,225,212	223,431,849	117,971,275	853,628,336

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、売掛金、未収収益、未収金、前払費用、仮払金、貯蔵品、未払金、未払費用、預り金、前受金および仮受金を含めている。なお、前期末および当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産および負債の内訳 (単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	870,734,533	793,082,414
売掛金	418,100	553,900
未収収益	2,817,425	2,803,727
未収金	143,581,834	116,576,987
前払費用	5,323,343	6,714,756
仮払金	0	24,000
貯蔵品	19,938,724	20,429,913
合計	1,042,813,959	940,185,697
未払金	54,304,949	46,463,886
未払費用	22,548,628	13,304,248
預り金	1,548,410	3,694,227
前受金	28,048,850	23,095,000
仮受金	874,228	0
合計	107,325,065	86,557,361
次期繰越収支差額	935,488,894	853,628,336

監 査 報 告 書

財団法人住友生命社会福祉事業団
理事長 川島 仁司 殿

平成 2 3 年 5 月 2 0 日
財団法人住友生命社会福祉事業団

監事 上野 博明 ㊞

監事 小林 英雄 ㊞

私たちは、平成 2 2 年 4 月 1 日から平成 2 3 年 3 月 3 1 日までの事業年度における業務及び会計の監査を行い、次のとおり報告する。

1. 監査の方法の概要

- (1) 業務監査については、理事から業務の報告を徴収し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて事業報告書及び理事の業務執行の妥当性を検討した。
- (2) 会計監査については、帳簿並びに関係書類閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及びキャッシュ・フロー計算書、並びに収支計算書（以下「財務諸表等」という。）の妥当性を検討した。

2. 監査意見

- (1) 事業報告書の内容は真実であると認める。
- (2) 理事の業務執行に関する不正の行為若しくは定款に違反する重大な事実はないと認める。
- (3) 財務諸表等は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の正味財産の増減内容及び財産の状況を正しく示していると認める。

以上